

2023年3月3日

日本メドトロニック、日本初の経カテーテル肺動脈弁専用デバイス「Medtronic Harmony™経カテーテル肺動脈弁システム」の販売を開始

日本メドトロニック株式会社（本社：東京都港区）は、先天性心疾患の術後に起こる肺動脈弁逆流症の治療に用いられる「Harmony（ハーモニー）経カテーテル肺動脈弁システム」（以下、Harmony TPV）の販売を2023年3月2日より開始した。

日本ではおよそ100人に1人が先天性心疾患を持って生まれている。近年は小児期の治療成績が向上したことに伴い、乳幼児期に外科手術を受けた患者の90%以上が成人期を迎えると言われている。成人となった患者は成人先天性心疾患患者と呼ばれ、その数は2020年時点で約50万人を超えると見積もられ、今後も増加が見込まれている。

Harmony TPVは主に、乳幼児期に自己の右室流出路から肺動脈組織を温存して外科手術を受けた重度の肺動脈弁逆流症の患者に対して、カテーテルを通じて肺動脈弁を留置する日本初の専用デバイス。肺動脈にフィットするように設計・デザインされた2つのサイズの生体弁と、それを心臓内に送達するためのデリバリーカテーテルシステムのセットから構成される。

外科的手術のリスクが高く、本品による治療が最善であると判断された場合、負担の大きな開胸手術の代わりに、カテーテルに格納された生体弁を太ももまたは首の小さな切開を介して送達し、心臓の内部に直接留置する。これにより、生涯における開胸手術の回数の減少、入院期間の減少及び術後早期の社会復帰などが大きく期待されるとしている。